



ふうの木のある学校から

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 7月号 文責 校長

心の器（うつわ）

皆さんは、どんな時にイラッとしますか？
また、どんな場面で楽しさを感じますか？
はたまた、どんな言葉に癒されますか？
さらに、その時のイラっとする度合い、楽しさの感じ方、癒された感情・感覚の幅はどれぐらいでしょうか？

私の場合、年齢のせいかわ々のことでは機嫌を悪くするようなことは減少傾向にあると自覚しています。

もちろん、子ども達が夢中で学びに向かってる姿や、私にかけてくれる何気ない言葉に「癒し」を感じることも多々あります。

「人は、感情の動物」とも言われます。ただ、心の模様は見えにくく、「そんなつもりじゃないのに」「良かれと思って言ったのに」トラブルに発展することがあります。

様々な感度を持った子ども達が集まる学校であれば、なおさらのことです。

支援を要するお子さんの機嫌がよくない時、感情尺度（メーター）を使って、最高レベルを100とした場合、70ぐらいのイライラ程度等と視覚化させたりして、対応することがあります。大人も子どもも様々な感情が浮かんで消え、消えては浮かびながら生活しています。

「あいだみつを先生」のポストカードに、こんな詩があります。

「セトモノと セトモノと
ぶつかりっこすると
すぐこわれちゃう
どっちか
やわらかければ
だいじょうぶ
やわらかいところを
もちましよう
そういうわたしは
いつもセトモノ」

（※本来は縦書き、味のある毛筆体です）

どれぐらい「やわらかいところ」をもって他者と接しているか？自問自答する毎日です。

「宿泊学習」は何のため？

「普段の家庭生活との違いを理解し、集団で生活するためのマナーやスキルを学習する」
6月27日（木）・28日（金）の一泊二日、5年生が青島少年自然の家で、その学習に取り組みました。

環境が変わり眠れない、家庭では通用していた自分の言葉や行いが通用しない、グループリーダーだったのに、他のメンバーが言うことを聞いてくれなかった。設定された時間通りに行動できなかった、またはその逆パターンも含めて様々な体験をしてきました。

5年後、10年後、子ども達は社会人として多様な人々と切磋琢磨しながら生きていきます。

宿泊学習において、できた・わかったこと、上手くできなかったこと、傷ついたことなどをもとに、お家の人や友達と話し合い、よりよい生活に変えることができる子になってほしいと、私は願っています。

（来年は、修学旅行ですよ～）

授業参観ありがとうございました。

6月21日（金）。前日までの大雨が嘘のように好天に恵まれました。

湿度が高く空調を作動する中の授業参観、学校保健委員会でしたが、たくさんの保護者の皆さんにおいていただきました。

「メディアに触れる時間」と「睡眠時間確保」の関係は、どの学校でも抱えている課題のひとつです。GIGA スクール構想により、タブレットの持ち帰りが加わることで、複雑化しているような気もしています。

睡眠時間から逆算して使用時間を設定したり土日は、読書や外遊びで目を休めたりするなどの工夫も必要となってきました。

ご家庭の状況に応じたメディアコントロールをお願いします。

新明倫の教え

私たちは、高鍋町に伝わる「明倫堂学規」の精神を受け継ぎ、ふるさとへの愛と誇りをもって、自分を磨き高めるように努力します。

- 一 学校・家庭・地域のきまりを守り、礼儀を正しくします
- 一 周りの人に居場所を知らせます
- 一 歩く、見る・聞く・話すを正しくします
- 一 身だしなみを整え、食事に気をつけます
- 一 姿勢、読み・書きを正しくします
- 一 整理・整頓を心がけます
- 一 年上を敬い、同年と親しみ、年下を慈しみます
- 一 志を高く、学業を修め自分のよさを生かします

平成25年4月1日制定
高鍋町・高鍋町教育委員会

毎月、お昼の放送で読み上げられる教えです。「学規(がっき)」とか「精神(せいしん)」、「愛(あい)」「誇(ほこ)り」といった言葉が出てくると、どこか難しく、固く古いイメージを持たれがちです。

しかし、ひとつひとつに具体例を想像しながら読んでみると、学校生活だけでなく家庭や地域での生活の様々な部分に通じる「教え」のように感じます。

また、学校のきまりや夏休みの過ごし方等の細々とした内容を集約すると、この「教え」に行きつくのでは?とも考えているところです。

高鍋で学んでいる子どもたち、保護者の皆さん、地域の方々にも再度確認していただきたい「教え」です。

酷暑!

昭和の昔話ですが、夏休みの過ごし方を指導する先生方は、

「朝夕の涼しい時間に勉強や読書をした方がよい」と語られていました。

実際には・・・

朝早く起きて、仲間と一緒に電灯付近や樹木に隠れているカブトムシやクワガタを探し、時間が来たらラジオ体操。

子ども会の大人からスタンプをもらい帰宅。軽い朝食をとったら、「ちゃんと宿題をせんと、先生に怒られるよ」等々と親に言われながら、午前10時ぐらいまで、しぶしぶ「夏休みの友」等の宿題に取り組むという午前中でした。

しかし現在、朝5時30分頃でも気温が30度という状況。

うちわや扇風機だけで涼しさを感じ、川遊び等でたっぷり午後の時間を過ごした後はお昼寝までできていたことを思うと、地球が温暖化していることを実感せずにはいられません。

熱中症対策、花火、川遊びや海水浴等で気を付けることは日頃から指導しているところです。

8月27日をどのように迎えるかを想定して「一日中、冷房のあるところで過ごす」「夜更かしをして、いつまでも寝ない」「たっぷり朝寝坊をする」といったことが習慣にならないよう、ご家庭でもご指導ください。

本や新聞を読む

新聞や報道、SNS等によって様々な言葉がシャワーのように振りまかれている現在。

全国学力テスト(質問紙)等の分析によると「読書する子は非認知能力が身に付きやすい」といった科学的根拠が示され、進んで本や新聞を読んだりすることの効果を紹介されています。

先日図書館だよりを目にしたところ、1学期で160冊を超える図書を借りている児童がいました。スマホ、タブレットでも読書はできますが、本や新聞は「紙(ページ)」をめくる作業ができます。

気になったところを何度も読み返したり、前や後ろのページを行ったり来たりできるのも、紙ならではの長所ではないでしょうか。西小の子ども達にも、読書のよさに触れ、身に付けた言葉や知識を、学習や生活に活かしてほしいと願っているところです。